

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部総務課広報係
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

創立20周年を寿ぐ式典を盛大に挙



人と社会に
 さらになる貢献の誠を尽くし
 新たな法人の歴史を綴り行こう

法人創立から二十周年を迎えた去る七月二十四日、多数の来賓の方々をお迎えし、佳節を寿ぐ式典が盛大に執り行われた。会場内は、多宝会が築き上げてきた厳粛な歴史と、その運営に携わってこられた多くの皆様の厚い思いに彩られながら、厳かに進められた。



式辞を述べる加藤貴之理事長

多宝会が社会福祉法人として福島県知事より認可をいただいたのは平成9年(1997)七月二十三日、この度、晴れて二十周年の佳節を迎えることができた。これまで歴史を重ね使命と役割を果たすことができたのも、ひとえに多宝会を愛し、信頼をお寄せいただいた多くの皆様のご支援とご尽力の賜物であり、深く感謝と御礼を申し上げます。この日を契機として、二十周年の歴史を振り返り、多宝会を愛し、支え、育てていただいた多くの皆様のご支援とご尽力の賜物であり、衷心より深く感謝申し上げます。関係各位に対する感謝と御

礼が述べられ「今日まで、幾多の困難に直面しながらも果敢に乗り越え勇躍の前進を成し遂げて来られたのは、全ての職員が理念とともに人と社会に貢献の誠を果たそうと奮闘に次ぐ奮闘の日々があり、また、公私に渉る役員の皆様の実心のご指導とご支援の賜物」と、改めて感謝の意が述べられ、時代を切り開き新たな歴史を築いて行くために理事長自ら先頭に立ち、同じ方向を見据え心一つに全力で進んで行きたいとの決意を述べ挨拶した。引き続き



福島市社協 金子與宏会長



福島市長の祝辞を代読する加藤健康福祉部長

来賓を代表し、小林 香福 島市長様、金子 與宏 福島市社会福祉協議会会長様のお二人から祝辞をいただき

「来賓を代表し
 祝辞をいただく」

式典の席上、加藤貴之理事長から法人の運営経過と業績について紹介が成された。加藤理事長は、「福祉介護を取り巻く内外の厳しい環境にありながら知恵と力を傾け、さらには、先駆的な業務体制への取り組み等を通じ実績として積み上げることができた」と、事業成果について詳しく紹介があった。出席者からは、称賞の声が数多く聞かれた。

創立者夫妻
 二十周年を祝福

創立を祝う式典と祝賀の席に、創立者で前理事長の加藤勝一氏、同じく前常務理事として創立者を支えた加藤三枝子夫人のお二人も列席し佳節を祝した。祝賀の席上、挨拶に立った加藤勝一氏は、法人の歴史をたどりながら、これからも必要とされる多宝会として、加藤貴之理事長と心を一つに、さらなる発展に邁進す



加藤貴之理事長
 「記念報告」を行い
 法人の業績を紹介

「記念報告」を行い、法人の業績を紹介した。加藤理事長は、「福祉介護を取り巻く内外の厳しい環境にありながら知恵と力を傾け、さらには、先駆的な業務体制への取り組み等を通じ実績として積み上げることができた」と、事業成果について詳しく紹介があった。出席者からは、称賞の声が数多く聞かれた。



役員会を開催し新体制へ移行
 法人並びに事業運営を一段と強化

法人役員の任期満了に伴う人事を行い、法人の運営、業務全般にわたる方針等について協議を行った

10年以上(臨時職として)
 永年勤続表彰の
 栄誉に輝く

10年以上の長きにわたり真摯に職務を果たし人と社会に貢献してこられた5名の皆様へ各施設で、感謝の意を表す賞状が贈られた。表彰の栄誉に輝いた方々は臨時職の立場

6月23日、評議員会並びに理事会を相次いで開催、新たな役員人事を承認するとともに、併せて、その他の人事も行い、勇躍のスタートを期した。(敬称略)

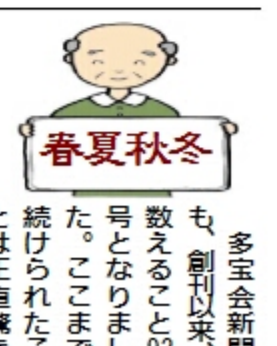
理事長 加藤貴之
 専務理事 阿久津政広
 理事 齋藤圭太
 理事 安西直美
 理事 内山加奈子
 理事 渡邊啓道
 監事 若松謙維
 監事 佐藤昌彦

受賞された皆様

まちなか宝生園 介護職
 井上 あかねさん
 氏家 弘子さん
 業務員 大門 清光さん
 アリヴァール宝生園 業務員 佐藤 芳悦さん

から、自らが持つ優れた技能をいかに発揮し職務に精励された方々で、なくてはならない存在となっている。各施設から一人一人に手渡された。

多宝会新聞
 も、創刊以来、数えること92号となりました。ここまですべては、代えがたい宝物だと思っています。そうなんです、実は以前から少しずつ限界を感じていました。ようやく気持ちにも整理がついたことから今号を最後に後任にバトンタッチする事といたしました。そんな訳でして、長い間つたない紙面にお付き合いいただき本当に有難うございました。また、紙面づくりに携わっていただきました多くの皆様へ心からの感謝と御礼を申し上げます。次号は4月28日に発行しました。約8年半の間、毎月の締め切りには追われながら徹夜で作り上げたことも今では良い思い出になっています。以前にも広報紙の発行は各事業所が主体となっていました。ただ、発行を職員に委ねることについては、ほとんど広報紙づくりの経験も無い中担当となれば限られた時間と多忙な職務の合間に情報を集め編集し発行まで滞りつづけることは極めて困難で、折角貴重な情報をいただいても広報の時機を逸してしまうこともあって、広報が適切なタイミングでお届け出来るよう「何とかしたい」との思いがありました。その思いが紙面の中で少しでもお伝え出来たなら、それで良かったと思っています。▼終わりがければ総てよし、かのマッカーサー(古い)曰く、老兵は死なずただ消え去るのみ、サンキューでした。



多宝会のロゴマークは漢字の心の文字をデザインしました。人としての振る舞いは心の働きによることから、その在り方こそが大切であると考えています。黄は奉仕、青は信頼、赤は勇気を表しています。

施設の話題をいち早くお届けする

多宝会ホットライン

多宝会の基本理念は「日々に心・日々に信・日々に新」を掲げています。誠実な心と行動によって信頼が築かれ安心の日々をお過ごしいただけると考えています。スタッフ一同、明るく、優しく、朗らかに、一日一日を大切に、人と地域を元気にしたいと思っています。

土湯宝生園

運動会へご招待

5月、土湯小の運動会は生憎の天候で、会場を体育館に移して開催しました。ケアハウスにご入居の皆様もご招待をいただき喜んで参加いたしました。中でも、玉入れ競争や恒例の宝拾いは、出番はここだ！と気合も十分に意気にかえりながらのご参加でした。また、児童たちの元気な姿に接しパワーをいただいたご様子で、いつも以上に笑顔と元気にあふれていました。



鯉のぼりを作る



端午の節句を前にケアハウスの皆様でミニチュアの鯉のぼりを作りました。かまぼこの板にストローを立てて千代紙で折

った鯉を飾り付けました。年を重ねてもウキウキ感が変わらないようで、子供のころに帰ったようにそれぞれの思いが込められた楽しい作業となりました。出来上がった作品を前に歌と柏餅で完成を祝いました。



演芸ボランティアに笑いがこぼれる

ボランティア活動で各地を公演されている「演芸ばらえたい」の香取峰越さんがケアハウスを訪れ楽しい芸の数々を披露していただきました。演目では、会場の皆様に喜んでいただけるような曲を選んで三味線で演奏、歌とトークも交えながら素晴らしい芸を披露して下さいました。東日本大震災での被災についての温かい心遣いもあり、楽しい時間のプレゼントに皆様の心も温かくなりました。



西部地域包括支援センター

西地区健康づくり大作戦

福島市の依頼で7月11日、西学習センターを会場に「西地区健康づくり大作戦・いきいきもりん体操」を開催し講話と体操で汗を流しました。この体操は介護を必要としないための運動を厳選してまとめ上げたもので、錆びつき防止、ほぐし、筋力アップの3つの運動で、元気の素が満載の体操です。体験した人は「簡単そうに見えるけど結構効くね」とか「さっきまで痛かった膝が痛くなくなったよ」などの声が聴かれました。普段の



運動が大切ですね。

いきいきもりん体操でリフレッシュ

7月13日、佐倉婦人会の皆様からご依頼をいただき、介護予防にかかわる「講話」と「いきいきもりん体操」を組み合わせ、心身ともにリフレッシュの機会となりました。会場となった西支所には大勢の参加者が詰めかけ、講話では介護状態にならないためには予防が如何に大切かについて学び、理解を深めていた。参加の皆様



からの質問も多く出され関心の高さも伺えました。いきいきもりん体操では「思ったより身体を使うもんだね」や「いや〜効いたない」などの感想がありました。

ケアハウスで音楽療法

6月9日、季節にふさわしく「駅」をテーマに、しっとりとした音楽療法が開かれました。開催を待ち望んでいた皆様で会場はいっぱいになりました。朝のドラマの中でも歌われている「ああ野駅」では、自分の若き時代と重ね合わ



せ、集団就職で上京した当時を思い浮かべられた方も多かったようでした。「別れの朝」は一段としみじみと、デイとケアハウスの皆様の熱唱が響いていました。

デイサービスのお好み焼き

お好み焼きは、人気が高い好物の一つとなっています。ご利用の皆様もお楽しみのご様子で、材料のキャベツを切ったり混ぜたりと、「普段、こんなことしないね〜」と笑顔でおしゃりながら、調理にも積極的にご参加いただいています。「あーだこーだ」と楽しい会話の中で焼き上げ、皆様でいただきました。当然のことながら味は抜群で、お帰りまで笑顔が絶えませんでした。ご馳走様でした。



まちなか宝生園

賑やかに音楽コンサート

こころホールを会場にボランティアの方々をお迎えし、音楽コンサートを開催しました。



緊急時にも万全の態勢で

緊急時の対応は、日頃からの訓練が重要になります。いざという時にも決して慌てることがなく適切な対応を図ることが求められ、その事がご利用者の皆様の安全と安心に繋がります。まちなか宝生園では、定期的に緊急対応を実践的に行う勉強会を開いています。6月には、事故の発見から救急要請までの一連の流れについて訓練を行いました。



デイ夏まつりスナップ アラカルト

8月に行われた夏まつりのスナップ写真です。金魚釣りに興じていますね。なかなか思うように行かないもんなんです。皆さん、難しい顔でボイを使いながら苦戦している様子がよくわかります。下の写真は、早食い競争が食味あてでしょ



うか、大きなお口で食べようとしたり、のぞいたりしています。

右のスナップは、美味しそうな料理がたくさん並べられていますね。どんな料理なのか説明しているんですね。それとも、これって食べ放題、なんて聞いている様子なんではいでしょうか。

土湯宝生園デイサービス ミニ運動会

デイ恒例の屋内ミニ運動会を開催しました。紅白に分かれて用意された競技の数々に楽しく参加されていました。中でも「玉入れ」の迫力は真剣そのものでした。



宝子のつばき

わたくし、宝子がソットつばきのも最後となりました。ここまで、散々わがままをお受け止めていただいたこと心からの感謝と御礼を申し上げます。でも、何を つばやいて来たのか思い出せないんです、いや、本当に無責任なんですけど、実はそんなもんでした。また、お目にかかれることがあれば幸せですね。はい。

介護サービスやご利用についてのご相談は各事業所までお気軽にどうぞ、施設見学も随時お受けしています。

- | | | | |
|-----------|--------------|------------------|---|
| 土湯宝生園 | 024-594-5900 | 西部地域包括支援センター | 024-594-5800 |
| アリヴァーレ宝生園 | 024-594-0061 | 土湯宝生園指定居宅介護支援事業所 | 024-594-5902 |
| ほのほの宝生園 | 024-594-0063 | 生きがい支援湯ったりデイサービス | 024-594-5900 |
| まちなか宝生園 | 024-521-1122 | 多宝会本部事務局 | 024-522-6611 |
| 宝寿木村屋 | 024-594-5122 | URL | http://www.tahokai.jp |